



Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)11月10日
 会長：増田 盛英
 幹事：高木 勝
 クラブ広報委員長：岩崎 道夫
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋
 事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2009～2010年度
 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーの未来はあなたの手の中に
 2009～2010年度
 RI会長 ジョン・ケニー

第1431回例会

～職業奉仕・米山月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2009年10月15日(木) 晴 第14回

司会：梅田朋嗣会場委員
 斉唱：「それでこそロータリー」
 ゲスト：名古屋大須RC：新沼 操IM実行委員長
 名古屋大須RC：前田隆久IM総務部長

会長挨拶

増田盛英会長

10月8日は、大型台風が本州を縦断という事で、稲葉クラブ奉仕委員長と高木幹事と相談の上、勝手ながら急遽休会とさせていただきます。結果としては、例会を開催できたなという感じもりましたが、危険予知をしたという事で、会員の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。ご案内にも書きましたように、この休会の振替例会を行わなければなりません。次回理事会で決定してご報告をさせていただきます。



もう一つご報告をいたします。熱田神宮さんより2013年に迎える「創祀千九百年記念造営竣工祭」のご案内が瑞穂クラブ会長宛で参りましたので、会員の皆さんを代表して行ってまいりました。1日目の10月10日は19時から始まり、約1500人が見守る中、草薙の剣を本殿に戻す「本殿遷座祭」がありました。2日目の10月11日は10時から「本殿遷座祭臨時奉幣祭」がありました。小串宮司さんの日頃の心がけが良いため両日も晴天に恵まれました。小串さんはこの祭典の成功を祈り、9月から禁酒をしていたとの事です。小串宮司さんがこの祭典を無事成功に導かれたことを、会員の皆さんと拍手をもってお祝いしたいと思います。(全員で拍手)

さて、10月1日の例会は日本酒の日という事で日本酒の製造の話をしていただきましたが、本日はその続きをお話します。その前に、ある会員の方から玄米を精米して60%も70%も削った残りはどうなるのかと質問を受けました。10%まで削ったものは赤ぬかと言って主に油をとります。漬け物の糠床にもなります。そして20%まで削ったものを中ぬかと言い、主に飼料となります。30%まで削ったものは白ぬかと言い、それ以上はブドウ糖等を抽出して食品などに使用したり、焼酎の原料として使用します。

精米が済みますと、米を洗い水に浸漬します。皆さんの奥様方は、飯米を前の日に洗い、翌日の朝スイッチを入れて炊きます。十分に浸漬して、しっかりと米に水分を吸わせおいしくするためです。酒米の場合は、60%精白以上の場合で浸漬時間は20分から30分位、30%精白の場合は米洗いから浸漬まで8分から9分間位しか水に浸しておくことが出来ません。何故かと言いますと、それ以上浸しておくとも水を吸いすぎて後からの作業に影響するからです。玄米の水分は15%です。これを30%精白にすると水分が8%から9%位になってしまいます。従って水に浸すと急速に水を吸ってしまう為、長く浸漬することが出来ません。専門的な用語でこのことを「限定吸水」と言います。

この高精白の米洗いは、以前は地酒メーカーでは、1日に200kgから350kg位の洗米が数日間ありましたが、今では吟醸酒などの高級酒が多く飲まれるようになり1日2t以上洗米する蔵元も多くなりました。それも何日間も続くわけです。5度から8度位の水で洗うため、水が冷たく苦勞する作業です。

200kg洗い「限定吸水」する作業に4人で約2時間はかかります。そのため、私たちの酒造機械業者は、限定吸水の出来る洗米装置を開発したのですが、特に精白の高い米は機械が信用されず、今でも手作業で行っている蔵元が多いようです。

この話はまだまだ続きます。次回例会はガバナー訪問日、次々回は職場例会です。この続きは11月の例会でお話いたします。

幹事報告

高木 勝幹事

- ・本日13時35分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第2回30周年記念実行委員会を開催致します。
- ・次週10月21日(水)12時30分より名古屋観光ホテル2階「曙の間」にてガバナー公式訪問が開催されます。名古屋南RCとの合同例会となります。よって10月22日(木)は振替休会となります。

出席報告

八木沢幹夫出席委員

会員70名 出席47名 (出席計算人数53名)

出席率 77% 10月 1日は補填により 94.9%

ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス委員

- ・本年度のIM、皆様こそついで下さい。お待ちいたしております。

名古屋大須RC IM実行委員長 新沼 操さん

- ・熱田神宮の一だ行事も無事終わりました。ロータリーの皆様の応援に感謝いたします。 小串 和夫さん
- ・先日、熱田神宮の遷座祭に参列しました。新しい神殿からの白木のいい香りに身も心も洗われるようでした。 長坂 邦雄さん
- ・本日、熱田神宮50年ぶりの奉祝祭に参加して参りました。

平野哲始郎さん

- ・1)本日はIMのPRに大須クラブの実行委員長の新沼氏と総務部長の前田氏にお越し頂いております。
- ・2)小串宮司さん創祀1900年記念造営竣工祭無事終えられおめでとうございました。 増田 盛英さん
- ・長女が三重大学の准教授として就任いたしました。 田中 隆義さん
- ・久しぶりにホームクラブに出ます。 中川啓二郎さん
- ・中川さんに免じて。 守谷 巖樹さん
- ・内田様、泉様、お世話になりました。 吉木 洋二さん
- ・4RCコンペ、ゴルフ会幹事の皆さん御苦勞様でした。堀さんゴルフレッスン有難うございました。お陰様で長島のコンペでさっそく成果が出ました。

入山 治樹さん

- ・秋らしくなりました。 宗宮 信賢さん
- ・10月29日は結婚記念日です。 近藤 雄亮さん
- ・10月6日は誕生日でした。 高木 勝さん
- ・来週10月21日は63回目の誕生日です。 西本 哲さん
- ・先月は家内の誕生日でした。お花ありがとうございました。

稲垣 豊さん

国際奉仕委員会:堀 慎治委員長

11月9日から11日まで台北延平RCへ訪問いたします。参加ご希望の方はご連絡ください。また、来年30周年に向けての台北延平RCとの行事についてですが、エクシブのメンバーシップの有無を事務局までご一報ください。

職業奉仕委員会:岩田修司委員長

29日の職場例会ですが、バスで行かれる方は10時20分にヒルトンの1階へ、お車でいられる方はヤマザキマザック美濃加茂工場へ集合してください。また、ヒルトンの駐車場は有料となります。予めご了承ください。

2009～2010年度西名古屋分区IMのご案内

名古屋大須RC:新沼 操IM実行委員長



今年度のIMは2760地区大澤ガバナーの方針で、できるだけ簡素に行う予定です。「今、地球の水が危ない!」というテーマは、ロータリー財団未来の夢計画の「水と衛生」という項目から選びました。第一部ではこの「水」についてそれぞれ違った分野から考えて行きたいと思っております。「水」をテーマにしたIMが、次の奉仕活動につながるよう意義あるものにしたいと考えておりますので、登録だけでなく是非ご参加ください。また、第二部の懇親会の前に男声合唱団で歌を歌うことになっておりますが現在団員を募集中ですのでご参加いただける方はご連絡くださいますようお願い申し上げます。

R財団国際親善奨学生 橘田直樹さんからのメール

ロータリー財団国際親善奨学生の橘田直樹さんからのメールをご紹介します。

時の流れは早いもので、僕がイギリスに来てから、約1年が過ぎました。僕は今、修士論文を書いています。既に博士課程へ進学するための審査は終えているので、修士論文を提出した後は、新たに博士課程としての生活が始まります。

春学期と夏学期においては、主にジョン・ミルバンク教授とコナー・カニンガム講師の授業に出席しました。ミルバンク教授の授業においては、主に現代社会における多文化主義を議論し、カニンガム講師の授業においては、最近のヨーロッパ哲学において顕著になっているキリスト教神学からの影響について議論しました。また、週一回開かれる研究セミナーにおいては、中世から現代にわたる、様々な話題が議論されました。その他に、定期的に指導教授であるグッドチャイルド教授と面談をして、修士論文の準備をしていきました。日本では知ることのできなかった多くの議論を知ることができ、研究は大変順調です。

大学で研究を行う傍ら、月に1回のロータリーの卓話も続けてきました。卓話においては、以前と同様に20枚ほどの写真を用いて日本文化について説明します。卓話の後には質問があります。また、卓話以外にも様々なロータリーの行事に参加し、様々なイギリスの文化を体験することができました。

僕はイギリスの宗教哲学の研究に来ていますが、日本における生活とイギリスにおける生活の大きな違いは、宗教に対する態度にあります。特にキリスト教については、イギリス人の生活の中に溶け込んでおり、生活の様々な面でその影響をうかがうことができます。

イギリスにおける残された期間、様々なクラブにおいて卓話を行い、また社会的な活動に参加するつもりです。

職業奉仕についてクラブフォーラム



今年のガバナー方針は、サブタイトルに「職業奉仕はロータリーの基盤である」とあります。皆さんは職業奉仕についてどのようにお考えでしょうか。私は、職業奉仕とは、自分の仕事を一生懸命やることによって社会に奉仕し税金を払うことだと単純に考えていた時期がありました。しかしこれは大間違いでした。我々にとって一番大切なものは、目に見えない心のあり方であり、それを磨くのが例会への出席です。例会出席は、ロータリアン同士が先生または生徒として職業倫理を高めていくための道場であると言われております。最近の世の中の風潮としては、強い者が勝つというアメリカの市場原理主義が世界の主流となろうとしますが、現代の企業犯罪等はそれが原因となっているように私は感じます。そういった意味でロータリーの原点をもう一度考え直す必要があるのではないのでしょうか。私自身、職業奉仕委員長になってから何冊か本を読みました。その中に何度も繰り返し出てきた文章を簡略化しピックアップ致しましたのでご紹介させていただきます。

◆ロータリーは寄付団体でもなく、慈善団体でもなく、ボランティア団体でもない。ロータリアンに奉仕の心を授けていく団体、そして倫理を提唱していく団体、即ちロータリアンの心の開発を第一義とする団体である。

◆職業というものは、自分のためだけにあるものではなくて、他人のため、世の中のために奉仕する手段でもあるのだという職業観を確立すること。そういう職業観をはっきり持って、自ら実行するだけでなく、同業者、ひいてはすべての職業人もそうさせるよう努力することである。そういうロータリアンになることを職業奉仕と呼んでいる。

◆すべての職業は、世の中の必要のため生まれ、必要のために存在するものであって、決して私のためにあるものではない。しかし、私どもはとかく自分の職業を自分のためのものと考えて、生活のため、金儲けのため、あるいは立身出世のためなど、自分勝手な考え方になりやすい。

◆自分の職業は天職であり、相手の職業もまた天職である。すべて平等対等である。したがって、天職が集まっているのだから大企業であっても零細企業であっても、すべて世のため人のため、契機をはらんでいる。したがって天職と天職との間に貴賤があるはずがない。

◆単に利潤追求だけではなく世のため人のためにも職業を営んでいるという自覚を持てば胸を張ることができる。自ら誇りも出てくる。誇りが出れば企業経営にも品格が出てくる。

◆職業倫理は、自分のために利益を得たいという利己心と、人のために尽くさねばなるまいという利他心との調和を目的とする人生哲学である。

また、職業奉仕には皆さんご存知の四つのテストというものがあり、私はこれを個人の思想や行動の倫理的尺度だと解釈しております。このテストから見た反逆事例として、無節操経営、虚偽情報、八百長取引、詐欺・横領などがあります。これらについて皆さんはどう思われますか。各自一度考えてみて下さい。

例会のご案内

■本日の行事 10月21日(水) ガバナー公式訪問

場 所:名古屋観光ホテル2階「曙の間」
※10月22日(木)は振替により休会

■次週の行事 10月29日(木) 職場例会

場 所:ヤマザキマザック美濃加茂工場

■次々週卓話 11月5日(木)

卓話講師:地区R財団委員長 深谷友尋さん
テ - マ:ロータリー財団について